令和元年度 二戸市

認知症あんしん生活実践塾

~家族で治そう認知症~

はじめまして、メールでは失礼と思いますが、認知症の祖父を介護している祖母にかわって 書かせて頂きます。

その中で、竹内先生が「夜間に興奮してどなるのは《脱水》を原因としていることがほとんど。 必ず水分のことを考える必要がある。」とおっしゃっているページがありました。祖母は祖父が 興奮し、暴力をふるったりすることがあったので、大変困っていました。

ところが、この先生のコメントがひとつのきっかけとなり、祖父に水分の補給を十分にしたところ 祖父が興奮することがほとんどなくなりました。残念ながら、通っている病院、またその他で、 一切そのようなことは教えて頂いたことはありません。「水分を十分にとる」。たったこれだけのこと なのに、入院中、興奮したりすると、お薬を飲まされたり、注射をされ、おとなしくされていました。

これは、偶然、竹内孝仁教授(国際医療福祉大学大学院)の認知症ケアの記事を読んだ 一般の方から投稿メールです。竹内教授が提唱するたった4つのケアを実践するだけで 祖父の認知症の症状が取れたというものです。

今年も、40年にわたり多くの認知症患者さんを治してきた竹内孝仁教授をお招きし、 【認知症あんしん生活実践塾】を開催することとなりました。竹内教授は認知症の 症状を脳の器質的・病理的な変化のみでとらえるのではなく、認知症高齢者を包括的・ 全人的に観察し、症状発現のメカニズムを徹底的に分析して理論的なケアを行うことで 認知症は治せることを提唱しています。

既に全国各地で認知症を治すケアの研究会が開催され、実際に家族が認知症を改善した 事例が続々と増えています。ぜひ、この機会に一緒に「理論に基づいた認知症ケア」を 学びましょう。多くの方のご参加をお待ちしております。

2019年7月19日[金]



開場 13:00 開演 13:30 閉会 15:00

講師 ▶竹内孝仁(国際医療福祉大学大学院教授)

会場 ▶シビックセンター **1F** ホール(定員120名)

国際医療福祉大学大学院教授 竹内 孝仁(たけうち たかひと)

1973年より特別養護老人ホームに関わり「離床」「おむつゼロ」などを実践、1980年代後半より高齢者在宅ケア全般に 関わる。日本ケアマネジメント学会副理事長、パワーリハビリテーション研究会会長、日本自立支援介護学会会長

※第2回目以降の塾に参加される方は15:10~16:00までオリエンテーションがございます。

主催:二戸市

認知症を知り共に支える会議

フロー・ファイン 1000 ロロー・ファイサービスセンターおからぎ 担当:小保内 1028-6105 二戸市堀野字大川原毛89-6

TEL:0195-22-4139·FAX:0195-22-5139 ※申込方法は裏面をごらんください